

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「生命誕生」

魚津市立上野方小学校 5 学年児童
平成 22 年 10 月 28 日実施

【いのちの先生】

水井 雅子先生
・助産師

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 いのちの先生の話
 - (1) いのちの始まり
 - (2) 胎児の発達と生命誕生の神秘
 - (3) いのちの記念日
- 3 授業の感想の記入

「いのちの授業」の感想

いのちの授業では、いのちの誕生について教えてもらいました。1億以上の精子の中の1匹が卵子に入って赤ちゃんになるなんてすごいなあと思いました。もし、わたしになった精子が卵子に入らなかったとしたら、この世にはわたしではなく、別の人がいたかもしれないと思うと、いのちが生まれるということはすごい奇跡だと思いました。

他にも、折り紙にあげた小さな穴ほどの大きさだった私が、11年たつと1m40cmを超えるまでに大きく成長するなど、いのちの授業はおどろきでいっぱいでした。



「いのちの授業」の感想

いのちの授業で、赤ちゃんはお母さんのお腹の中にいるときは、羊水を飲んでることを教えていただきました。

また、折り紙と大豆をもらったとき、何だろうと思いました。折り紙の中心にあげた小さな穴が、最初のいのちの大きさだとは思いませんでした。大豆は少し大きくなった赤ちゃんの大きさだと教えてもらいびっくりしました。

「いのちの授業」の感想

いのちの授業で、水井先生に教えていただいたことで、びっくりしたことがありました。それは、赤ちゃんは、折り紙に針をさしてできた小さな穴くらいの大きさから育って行って、大豆くらいの大きさになると体の形がはっきりしてくるのです。また、誕生日はお母さんに、自分を産んでくれてありがとうという気持ちを伝える日だと教えていただきました。

私は、誕生日にお母さんにありがとうという気持ちを伝えてみようと思いました。